

講義名	情報社会論			授業形態	
担当教員	佐藤 彰宣	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

### 主題と概要

情報化社会の到来が語られて久しい。では、インターネットやSNSなどの新たな情報技術（デジタルメディア）は、現代社会のなかでどのように生み出され、人々にいかなる影響を与えてきたのだろうか。本講義では、多様な事例を通して、現代社会と情報技術（デジタルメディア）の関係を社会学の視点から読み解く。

### 到達目標

- ・近現代社会における情報技術（デジタルメディア）の特性を論じることができる。
- ・情報技術について、社会学の概念と理論を理解し、説明することができる。
- ・情報技術（デジタルメディア）と結びついた社会現象を社会学の視点から分析することができる。

### 提出課題

平常点課題については、毎回の授業内で課す。なお授業日数の3分の1を超えて欠席した場合は、成績対象外とする。いずれの課題においても動詞（出典を表記しないネット記事の書き写し・コピー）は不正行為とみなす。他の人の課題を写す/写させる行為も不正行為である。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

平常点課題として寄せられたコメント・質問を、毎回授業内で適宜紹介し、応答する。

### 評価の基準

成績評価は 平常点課題（30％） 定期試験（70％）によって行う。これらにおいては、授業理解度（授業で扱った概念や理論について理解・説明できているか）、分析・考察（授業で学んだ概念や理論を用いて、特定の現象の原因や仕組みを論理的に説明できているか）を問う。

### 履修にあたっての注意・助言他

日常生活のなかでも情報技術や情報社会に関する情報や知識を積極的に集めておくことで、授業内容についての理解もより深まることが期待される

### 教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

### 参考図書

.デジタルメディアの社会学。	土橋臣吾ほか	北樹出版		9784779305559
.メディア社会学。	辻泉ほか	有斐閣		9784641150553
.これからのメディア論。	大久保遼	有斐閣		9784641200

### その他

適宜レジュメを配布する。上記以外の参考文献は自らのなかで別途案内する。

### 授業計画

- 第1回授業の導入：「情報社会」、「デジタルメディア」とは何か  
予備内容：シラバスおよび参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業概要について授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第2回環境としてのデジタルメディア：生活環境とデジタルメディア  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第3回インターネットと情報収集：デジタルメディアとソーシャルメディア、集団的行動  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第4回ウェブのアーキテクチャ（1）：人取組としてのページランクと「指文字」  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第5回ウェブのアーキテクチャ（2）：個人に最適化された情報消費  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第6回インターネットと政治/公共性：メディアと民主主義、世論と選挙  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第7回スマートフォンと人間関係：情報社会の社会距離感  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第8回SNSとつながり：「強い関係の存在」と「趣味圏」  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第9回SNSと流言：「ニッパ」のメディア（近頃大震災からサイバーショック、コピペ騒動まで）  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第10回情報メディアの系譜（1）：能力制約におけるコンピュータの誕生  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第11回情報メディアの系譜（2）：冷戦構造でのインターネットの実用化  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第12回情報メディアの系譜（3）：インターネットの社会空間の成立  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第13回監視社会と情報システム（1）：メディアと権力関係  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第14回監視社会と情報システム（2）：データとしての監視  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第15回授業の総括：技術決定論を超えて情報社会を読み解くための視点  
予備内容：前回資料および参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）  
復習内容：授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

現代の情報社会のあり方やその成立過程について考える本科目は、卒業認定・学位授与の方針として示されている「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のなかでも、特に「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」などを養うことにつながる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

課題の提出などは、キャンパスクロスを通して行う。また授業内では情報社会の動向をより分かりやすくイメージしてもらうために、レジュメだけでなく映像資料も積極的に使用する。情報技術と社会がどのような関係にあるのかを意識しながら、映像資料（情報社会に関するドキュメンタリーや映画など）を視聴することで、講義内容への理解がより深まることが期待される。

### 実務経験の有無及び活用

なし
----

### 備考